



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	14,283	33.7	560	225.6	544	248.7	504	514.6
29年3月期第1四半期	10,681	22.9	172	—	156	—	82	—

(注)包括利益 30年3月期第1四半期 521百万円 (240.5%) 29年3月期第1四半期 153百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	1.74	—
29年3月期第1四半期	0.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	8,091	7,107	87.5	24.45
29年3月期	7,585	6,585	86.7	22.70

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 7,080百万円 29年3月期 6,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,750	52.2	580	66.2	540	68.8	460	338.1	1.59
通期	70,500	12.8	660	352.1	590	697.3	420	—	1.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	289,747,982 株	29年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	96,471 株	29年3月期	96,267 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	289,651,611 株	29年3月期1Q	289,652,700 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な企業業績に支えられ、景気は回復基調が続いているものの、米国の政策動向や新興国の景気減速、為替変動リスク等、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、国際情勢の先行き不透明感や地政学的リスクの高まりから総じて堅調に推移いたしました。業績については、昨年引き続き、金地金取引が好調であったことから堅調に推移いたしました。不動産市況においては、低金利の継続や政府の景気浮揚策等もあり、不動産価格の上昇が続いております。ビル賃貸業においては、都心の優良オフィスビルでは企業の拡張移転、増床などのオフィスの拡張等により空室率は低水準で推移し、成約賃料においても緩やかな上昇が続いております。こうした中、平成29年5月に販売用不動産(信託受益権)を売却したことが寄与し業績は好調に推移いたしました。機械市況においては、中国を中心とした外需に持ち直しの動きがみられ、内需においても政府の補助金等の効果もあり工作機械受注は堅調に推移いたしました。収益改善に向け在庫の適正化を行った結果、業績は低調に推移いたしました。コンテンツ事業においては、全国の小売店やネット通販・自社運営ECサイトにて自社商品を販売の他、各種物販イベントに多数出展しております。また、アニメ製作委員会や番組スポンサーへ積極的に参加し、市場のニーズに合った商品の企画・製作・販売を展開してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,283,082千円(前年同四半期10,681,192千円)、営業損益は560,305千円の利益(前年同四半期172,308千円の利益)、経常損益は544,603千円の利益(前年同四半期156,973千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は504,917千円の利益(前年同四半期82,789千円の利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) II 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

貴金属事業におきましては、売上高は12,686,145千円(前年同四半期9,730,051千円)、営業損益は25,803千円の利益(前年同四半期4,753千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は1,179,559千円(前年同四半期531,262千円)、営業損益は629,333千円の利益(前年同四半期154,608千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は304,157千円(前年同四半期260,284千円)、営業損益は25,993千円の損失(前年同四半期28,337千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は27,946千円の利益(前年同四半期137,037千円の利益)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は79,755千円(前年同四半期16,136千円)、営業損益は5,466千円の利益(前年同四半期59千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より505,925千円増加し、当第1四半期末は、8,091,288千円となりました。

増加の主なものは、売掛金の増加(107,737千円から243,714千円へ135,976千円の増加)、原料及び貯蔵品の増加(3,688千円から120,296千円へ116,607千円の増加)及び預け金の増加(1,726,219千円から2,406,105千円へ679,886千円の増加)であります。減少の主なものは、販売用不動産の減少(505,358千円から31,307千円へ474,051千円の減少)であります。

当第1四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より16,056千円減少し、当第1四半期末は、983,562千円となりました。

増加の主なものは、デリバティブ債務の増加(19,170千円の増加)であります。減少の主なものは、長期借入金の減少(249,300千円から214,380千円へ34,920千円の減少)であります。

当第1四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より521,981千円増加し、当第1四半期末は、7,107,725千円となりました。

増加の主なものは、利益剰余金の増加(358,040千円から862,958千円へ504,917千円の増加)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では平成29年5月12日付決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,362,928	1,432,244
売掛金	107,737	243,714
商品及び製品	909,317	866,759
仕掛品	203,889	201,804
原材料及び貯蔵品	3,688	120,296
販売用不動産	505,358	31,307
仕掛不動産	—	6,534
デリバティブ債権	—	54,000
預け金	1,726,219	2,406,105
その他	32,700	31,954
流動資産合計	4,851,840	5,394,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,272,568	1,272,568
減価償却累計額	△586,359	△615,559
建物及び構築物（純額）	686,209	657,009
機械装置及び運搬具	534,898	525,469
減価償却累計額	△440,964	△435,386
機械装置及び運搬具（純額）	93,933	90,083
土地	1,691,391	1,691,391
その他	112,524	112,744
減価償却累計額	△102,914	△103,095
その他（純額）	9,610	9,649
有形固定資産合計	2,481,144	2,448,133
無形固定資産		
その他	7,600	7,175
無形固定資産合計	7,600	7,175
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	124,682	121,163
その他	8,943	8,943
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	244,777	241,258
固定資産合計	2,733,522	2,696,566
資産合計	7,585,363	8,091,288

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,227	44,827
短期借入金	150,000	150,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	139,680	139,680
未払金	26,343	26,908
未払法人税等	26,666	34,094
デリバティブ債務	—	19,170
その他	73,751	65,501
流動負債合計	504,669	530,182
固定負債		
長期借入金	249,300	214,380
長期末払金	12,332	10,516
金属鋁業等鋁害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	17,798	12,949
繰延税金負債	17,598	16,514
資産除去債務	193,968	195,066
固定負債合計	494,950	453,380
負債合計	999,619	983,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	358,040	862,958
自己株式	△31,182	△31,187
株主資本合計	6,575,785	7,080,697
非支配株主持分	9,958	27,028
純資産合計	6,585,743	7,107,725
負債純資産合計	7,585,363	8,091,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,681,192	14,283,082
売上原価	10,153,018	13,378,678
売上総利益	528,173	904,403
販売費及び一般管理費	355,865	344,098
営業利益	172,308	560,305
営業外収益		
受取利息	5	4
国庫補助金収入	9,478	9,194
保険金収入	—	737
その他	1,244	1,293
営業外収益合計	10,727	11,229
営業外費用		
支払利息	2,238	1,929
休山管理費	22,229	23,452
その他	1,594	1,549
営業外費用合計	26,062	26,932
経常利益	156,973	544,603
特別利益		
固定資産売却益	259	392
特別利益合計	259	392
特別損失		
固定資産除却損	55	—
特別損失合計	55	—
税金等調整前四半期純利益	157,177	544,995
法人税、住民税及び事業税	4,274	24,091
法人税等調整額	△706	△1,084
法人税等合計	3,567	23,007
四半期純利益	153,609	521,987
非支配株主に帰属する四半期純利益	70,820	17,069
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,789	504,917

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	153,609	521,987
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	153,609	521,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,789	504,917
非支配株主に係る四半期包括利益	70,820	17,069

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	9,730,051	527,255	260,284	144,985	16,136	2,478	10,681,192
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	4,007	—	—	—	—	4,007
計	9,730,051	531,262	260,284	144,985	16,136	2,478	10,685,199
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	4,753	154,608	△28,337	137,037	59	2,478	270,600

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	10,681,192
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△4,007	—
計	△4,007	10,681,192
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△98,291	172,308

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△98,291千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,291千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	12,686,145	1,175,552	304,157	34,850	79,755	2,621	14,283,082
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	4,007	—	—	—	—	4,007
計	12,686,145	1,179,559	304,157	34,850	79,755	2,621	14,287,089
セグメント利益又は セグメント損失(△)	25,803	629,333	△25,993	27,946	5,466	2,621	665,177

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	14,283,082
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△4,007	—
計	△4,007	14,283,082
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△104,872	560,305

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△104,872千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△104,872千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、従来の報告セグメントである「貴金属事業」と「宝飾事業」の区分を統合して、「貴金属事業」セグメントに区分しております。これは、営業強化を図るため事業部の再編を行い貴金属部と宝飾部の統合したことによるものです。

また、「その他」に含まれていた「コンテンツ事業」について、事業規模が拡大し、経営における重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。